

科 目 名	芸術Ⅱ（書道） Art Ⅱ（Calligraphy）			担当教員	正田幸子			
学 年	2 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	1	
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	13220027	単位区別	履修	
学習目標	これまでの学習内容と関連づけながら、表現と鑑賞の能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、書の美への探求がより充実、深化したものとなるようにする。							
進 め 方	・表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 ・多様な書の美への関心と鑑賞の必要性を理解させ、美を追求する姿勢を確立させる。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. 書の美を求めて（1） 2. 篆書の学習(1) さまざまな篆書 3. 石鼓文の鑑賞と臨書 4. 金文の鑑賞と臨書 -----			書が求める美とは何かを考える 特徴を確かめ、その特性を確認する それぞれの特徴を確かめ、表現へ結びつけるようにする A3:1 A3:2				
	5. 隷書の学習 さまざまな隷書 6. 隷書の特徴 7. 曹全碑の鑑賞と臨書 8. 行草書の学習(4) 風信帖の鑑賞と臨書			特徴を確かめ、表現へ結びつけるようにする 特徴を確かめ、その特性を確認する A3:2 A3:2				
	9. 行書の創作 10. 楷書の学習 整齐の美と均衡の美 11. 仮名の書の学習 種類、特徴 -----			漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようにする。 B2:1				
	12. 漢字仮名交じりの書の学習 13. 書体の趣を生かした表現の工夫 14. 古名跡を応用しての表現 16. 全体構成の工夫 ----- ----- -----			漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようにする。 B2:1				
	評価方法	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う。						
	履修要件	特になし						
	関連科目							
教 材	教科書：今井凌雪著「新編 書道Ⅱ」 教育出版							
備 考								